本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIOQUARTZ

コンピュータ・ウオッチ カシオ クオーツ

クロノグラフ

1/100秒・60分計ストップウオッチつき

60

使用説明書

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表　示　方　式：FE型液晶デジタル表示
表　示　内　容：時刻表示＝時・分・秒・午前／午後(午後のみPが点灯)
カレンダー表示＝月・日・曜日　2月28日制オートカレンダー
ストップウオッチ表示＝分・秒・1/100秒　ST, LAP(ラップ計測時)
セ　ッ　ト　機　構：時刻セット機構　秒合わせ機構(±30秒クリア)
カレンダーセット機構　ストップウオッチセット機構
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS-LSI
使　用　電　池：酸化銀電池(WG-3) 1個　電池別途販売
電　池　寿　命：約12ヵ月（ライトを1日当り5秒間点灯した場合）

ご使用上の注意

カシオクオーツをいつまでも高精度でご愛用いただくため、下記の点を特にご留意ください。

(1) 極端に高い温度や、極端に低い温度条件下ではご使用にならないでください。機能が低下したり電池寿命を短くしたりする恐れがあります。

(2) 水が入りにくい構造になっていますが、精密な電子回路や部品を保護するために、入浴や海水浴、洗車時などの不確定な水圧が加わる恐れのあるときのご使用は避けてください。

(3) 通常の使用状態でのショックには耐えるよう設計されていますが、落としたり強い衝撃を与えますと故障の原因となりますので十分ご注意ください。

(4) この腕時計は、C/MOS-LSIや水晶振動子、それに液晶パネルなどの精密パーツで構成され組立てられていますので、時計の内部には絶対手をふれないでください。

(5) このカシオクオーツを腕から外したり、長期にわたってお使いにならないときは……
(a) 寒冷地や夏場の直射日光が当る場所には放置しないでください。
(b) 水蒸気がたったり、たちこめるような湿気が極端に多い場所で長時間放置したり、保存しないでください。
(c) 消耗した電池を入れたままにしておきますと、故障の原因になります。長時間お使いにならないときは電池を抜くか、12ヵ月ごとに電池を入れかえながら保存してください。なお、電池の出し入れは絶対にご自分でなさらないでください。

(6) ボタン操作は確実に行なってください。

(7) このカシオクオーツに使用しているメタルバンドも汗やホコリでよごれます。汗をかいたときは、吸湿性の良い布などで水分を取り除いてください。また、ときどきは柔らかい歯ブラシ等を使い石けん水で部分洗いなどのお手入れをお願いします。(その際、時計本体には水がかからないようご注意ください。)

電池交換について

最初の電池は工場出荷時に組み込まれていますので、約12ヵ月に満たないうちに寿命がきれることがあります。

電池が消耗しますと「内部照明のライトが点灯しなくなったり」「急に遅れが目立ったり」「表示が消えたり」「見にくくなります」このような症状があらわれたら電池交換を行なってください。

新しい電池とお取りかえいただきますとその後、約12ヵ月の間ご使用になれます。

電池交換は、精度や寿命、気密性の維持上必らずお求めのお店かお近くのカシオクオーツ取扱い店あるいは当社営業所・出張所・サービスセンターにお申しつけいただき当社指定のカシオクオーツ専用電池と交換してください。

カシオクオーツ専用電池以外の電池をご使用しますと時計の正常な働きをさまたげ、故障の原因ともなりますのでご注意ください。

液晶パネルの交換について

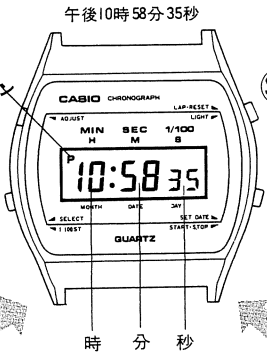
この時計には高品質のFE型液晶パネルを使用しておりますが、液晶はその性格上5年すぎますと、コントラストが低下したり、読みにくくなることがあります。その場合はお買いあげ店、またはカシオクオーツ取扱い店へ交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

このたびは、カシオクオーツをお買いあげくださいましてありがとうございます。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申しあげます。

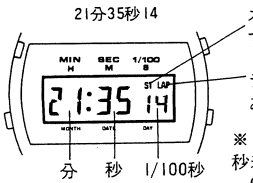
なお、ボタン操作は確実に行なっていただくのが望ましいのですが、もし、あやまったボタン操作を行なっても製品に障害を与えることは一切ありませんので、ご納得のゆくまで何回でもお試しください。

表示の見方と操作のしくみ

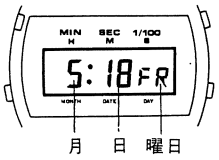
時刻表示



ストップウオッチ表示



カレンダー表示



計測範囲＝59分59秒99。以後0に戻り自動スタート。

ストップウオッチの使い方

ストップウオッチ表示のときの各ボタンのはたらき



S1ボタン……押すごとにスタート/ストップします。

SLボタン……計測停止中に押すとリセット(表示が00になる)されます。
計測中に押すとラップタイムが表示されもう一度押すと解除されます。

S3ボタン……押すごとにストップウオッチ表示←→時刻表示と切り替わります。計測中に時刻表示にしても計測には一切影響ありません。但し、ラップ計測時にこの操作をしますとラップは解除されます。

●操作方法… まずS3ボタンを押してストップウオッチ表示(STが点灯)にします。

★通常の計測

〈スタート〉 S1ボタン……計測開始(コロンが点滅し始めます)
〈ストップ〉 S1ボタン……計測停止(コロンの点滅が止まります)
〈リセット〉 SLボタン……表示が0に戻ります。

※ロスタイムがある場合(積算計測のしかた)
ストップ後、リセットせずに再スタート(S1ボタン)すれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

★ラップタイム(途中経過時間)の計測

〈スタート〉 S1ボタン……計測開始(コロンが点滅し始めます)
〈ラップ計測〉 SLボタン……ラップタイムが表示されます。(LAPが点灯します)
〈ラップ解除〉 SLボタン……ラップが解除されます。(LAPは消えます)
〈ストップ〉 S1ボタン……最終タイムが表示されます。(コロンの点滅が止まります)
〈リセット〉 SLボタン……表示が0に戻ります。

★1着・2着のタイム計測

〈スタート〉 S1ボタン……計測開始(コロンが点滅し始めます)
〈1着がゴール〉 SLボタン……1着のタイムが表示されます。(LAPが点灯します)
〈2着がゴール〉 S1ボタン……表示はそのままです。(コロンの点滅が止まります)
〈2着のタイムは〉 SLボタン……2着のタイムが表示されます。(LAPは消えます)
〈リセット〉 SLボタン……表示は0に戻ります。

時刻・カレンダーの合わせ方

「時刻・カレンダー合わせ」のときの各ボタンのはたらき



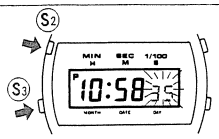
S1ボタン……押すごとに、数字あるいは曜日が進みます※。「秒合わせ」では「秒」が00になります。
※押し続けると、押している間、自動的に進みます。

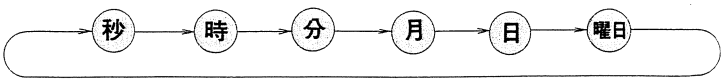
S2ボタン……「時刻・カレンダー合わせ」の状態にするとき、また、もとの時刻表示に戻すとき押します。

S3ボタン……押すごとに点滅個所(セット個所)が移動します。

※S2ボタンは先のとがったキズつきにくいもの(ボールペンの先など)で押してください。

(1) 時刻表示のとき**S2**ボタンを押すと「秒」が点滅します。以後**S3**ボタンを押すごとに以下の順序で点滅する個所が移動します。点滅している個所がセット可能ですのでセットしたい個所を選びます。





「秒合わせ」

(2) 「秒」が点滅しているとき、時報に合わせて**S1**ボタンを押すと、「秒」は点滅しながら00秒からスタートします。

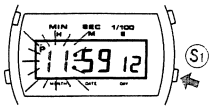
秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって00秒からスタートします。30秒以内の遅れ進みはこの方法で修正できます。



※時報は電話117番が便利です。

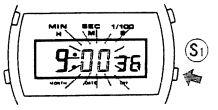
「時」のセット

(3) 「時」が点滅しているとき、**S1**ボタンを押すごとに「時」が進みますので※合わせたい「時」に合わせます。
※12をすぎるごとに午後表示Pが灯いたり消えたりします。



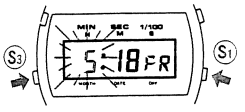
「分」のセット

(4) 「分」が点滅しているとき、**S1**ボタンを押すごとに「分」が進みますので合わせたい「分」に合わせます。



「月」「日」「曜日」のセット

(5) 「時」「分」のセットと同様、**S3**ボタンで合わせたい個所を選び、**S1**ボタンで合わせます。



セット完了

(6) セットが終わりましたら、どのセット個所からでも**S2**ボタンを押せば点滅は止まり、もとの通常表示に戻ります。

